

Kato グリーンウッド基金

2006年度より開始した「Kato グリーンウッド基金」とは、加藤産業グループで実施しているクリーン活動を会社が評価する仕組みです。賛助金を拠出し積立て、年に1度環境保護団体や社会福祉団体等へ寄付をしているものです。

〈過去の実績〉

2022年度:新型コロナウイルス緊急支援金

2021年度:新型コロナウイルス緊急支援金

2020年度:新型コロナウイルス緊急支援金

2019年度:西日本豪雨被災自治体(岡山県倉敷市／広島県安芸郡坂町／愛媛県大洲市)

2018年度:本社(兵庫県西宮市)・東北支社(宮城県仙台市)周辺地域の団体

なお、2006年の基金設立からの寄付金の累計は **累計 約5,860万円** となります。

クリーン活動(社外清掃活動)

原則、月に1回、従業員のボランティアにより、全国の事業所周辺の道路など公共エリアの清掃活動を実施しています。中でも、本社周辺の清掃活動に関しては、国土交通省 近畿地方整備局 兵庫国道事務所と「ボランティア・サポート・プログラム」に関する協定を2010年1月28日に締結しています。そして、2020年8月には「多年にわたる歩道清掃活動への功績」として感謝状を授与しました。

コロナ禍による中止期間をはさみながら、現在も継続して取り組んでいます。



各種回収活動

★エコキャップ運動

当社グループでは、「誰でも手軽に始めることができる社会貢献活動」として、ペットボトルのキャップの売却益で発展途上国の子どもたちにワクチンを贈る「エコキャップ運動」を推進しています。

★ベルマーク運動

継続的に取り組める社会貢献活動の一環として、2015年6月よりベルマーク運動に参加し、集めたベルマークは、西宮市立用海小学校に寄贈しています。

★巻心ECOプロジェクト

2011年度よりニチバン(株)さま主催の「巻心ECOプロジェクト」に参加しています。この取り組みは、使い終わったテープの芯を集め「再資源化すること」で廃棄物やCO₂を削減するとともに、その回収益をマンゴローブの植樹に役立てるといふものです。



読書手帳

子供たちの本に触れ合う機会を増やし、読書を通じた豊かな時間をもつ一助として、2020年より西宮市立の小学校(全41校)に通われている小学生に、西宮市教育委員会さまと当社が協力して企画・作成した「みやっこ 読書手帳」を読書の記録と振り返りのために配布をしています。



西宮教育委員会さまや小学校の先生方より

読書の楽しさが児童たちに広がり、読書の可能性が拡大しています。

Q. 読書手帳は、教室でどのように利用されていますでしょうか

A. 児童が読んだ本の題名や感想を書き溜めていく、読書の「足跡」として活用しています。記録をしていくことで、読書をすればするほど読んだ本の数が増えていくのが目に見えてわかり、読書意欲の向上につながっています。児童が記録をもとに読み終えた本の内容を振り返り、友達と面白かった本について交流し、友達に薦めたい本を見つけるなど、学習や本を紹介したコミュニケーションにも役立っています。

Q. 読書手帳の利用に関して、児童の方々からの感想をお聞かせ願います。

A. 感想が書けるからいいなと思った。(1・2年) 読書手帳があることで感想を書けて、「この本はこんなお話だったから次はこんな本に挑戦してみよう。」とたくさん本に挑戦することができた。(3年) 題名など書くところがわかりやすい。何冊目などわかりやすい。自分で本の評価ができるのがいい。下に問題が書いているのがおもしろい。(4年) 面白かった本の良さを友達と共有できるのいい。(5年) 自分が一度読んだ本を「メモ」を見て、もう一度読みたいと思えたり感じられたりする。(6年)

「がんばろう日本」復興支援商品

2011年6月より、東日本大震災をはじめとする災害で被災された方々を支援するための義援金が価格に含まれた「カンピー 780gジャム(シリーズ5品)」を製造・販売してきました。

2022年より、災害時の医療救護や被災者支援活動などの活動資金として、日本赤十字社の活動支援を通じて寄付しています。

Kanpy



MBSベースボールパーク

2022年6月、阪神甲子園球場で開催された阪神対西武戦でのMBSベースボールパーク5月度月間MVP賞の表彰式にて、昨年に引き続き、当社代表取締役社長がCMスポンサー代表プレゼンターとして参加しました。受賞者の近本光司選手には、賞金と副賞の「カンピー商品詰め合わせセット(1年分)」を贈呈しました。



新ブランド「カンピー ザ・プレミアム」発売 「パンのフェス2023春」出展

「Kanpy」ブランドから、『食卓が華やぐ、最上級の商品を提供する』新しいブランドメッセージを含め、「日常の中のちょっとした贅沢」をコンセプトにしたカンピー最上級ブランドである『Kanpy THE PREMIUM (カンピー ザ・プレミアム)』をリリースしました。



そこで、食パン文化の発祥の地である横浜エリア「赤レンガ倉庫 イベント広場」にて2023年3月3日より3日間開催された「パンのフェス2023」に、「カンピー ザ・プレミアム専用ブース」として初日に出展しました。多くの方々にお立ち寄りいただき、「果実の贅沢」「とろける贅沢」の4アイテムの試食と販売を行いました。

人気動画メディア「TASTEMADE」との共同プロジェクト

ライフスタイル動画メディア「TASTEMADE (テイストメイド)」との共同プロジェクトとして、これまで当社の「手造りジャム」を使用したジャム大福やスコーンのレシピ動画が公開されていましたが、2022年4月1日より新たに「ダッチベイビー」のレシピ動画が当社およびTASTEMADEの公式SNSにて公開されました。ふわもち食感のドイツ風パンケーキ「ダッチベイビー」を気軽においしく作れるレシピとなっており、「手造りジャム」特有の果実のごろっと感と自然な甘みでダッチベイビーを華やかに彩ります。



よしもと芸人エハラマサヒロYouTubeチャンネルにてカンピージャムの紹介動画公開

2022年11月に、吉本興業の人気芸人エハラマサヒロさんのYouTubeチャンネル「エハラ家チャンネル」にて、カンピージャムで作るおやつメニューを紹介した動画が公開されました。動画では、カンピー780gジャムをたっぷり使用したおやつ作りに家族で挑戦し、3つのメニューが紹介されています。



HP・SNSを通じた発信

商品を通じたより良いコミュニケーションのために、当社のホームページには自社ブランドの「商品情報」ページを設け、商品情報をブランド別・カテゴリ別により検索を容易にしています。

「Kanpyジャム」のウェブサイトでは、当社商品を使用する料理のレシピ紹介や、カテゴリ別に商品に関するQ&Aもご用意しています。

また、「カンピー」ブランドでは、「Instagram」に公式アカウントを開設しています。当社商品の紹介記事や、アレンジメニューの提案など、より多くの方々に「カンピー」ブランドの魅力を知っていただけるよう情報を発信して参りますので、ぜひご覧ください。

海外教育支援

当社グループの三陽物産(株)では、「公益財団法人School Aid Japan^{※1}」の「世界の一人でも多くの子どもたちに教育の機会と教育環境を提供する」ことを目的とした教育支援・就労支援に賛同し、2002年より支援活動に参加しています。

主な支援活動として、カンボジアでの教育関連施設(学校)の建設資金援助を行っています。今後もより多くの子どもたちの夢の実現に向け、支援を継続していきます。

※1 2001年、特定非営利活動法人(NPO法人)として活動を始め、開発途上国の子どもたちのために、様々な活動を行っている団体です。



WFPウォーク・ザ・ワールド大阪への協賛

WFP^{※2}ウォーク・ザ・ワールドに協賛をいたしました。ウォーク・ザ・ワールドは途上国の子どもたちの飢餓をなくすために、国連WFPが開催するチャリティーウォークです。

2022年度は、3会場合わせて4,543人が参加し、4百万円を超える寄付が集まり、およそ13万6千人の子どもたちに栄養たっぷりの給食を届けることができました。

※2 World Food Programme: 国連世界食糧計画



「冬休み 子どもの食 応援ボックス」を支援

子ども支援の国際NGO「セーブ・ザ・チルドレン」は、経済的に困難な状況にあるご家庭に支援物資をお届けする活動を行っています。

当社も活動の趣旨に賛同し、2022年12月にお届けされた「冬休み 子どもの食 応援ボックス」には、お米やレトルト食品のほか、子ども向けのジュースやお菓子などの中に当社ブランド商品も梱包していただきました。



ステークホルダーの皆さまと